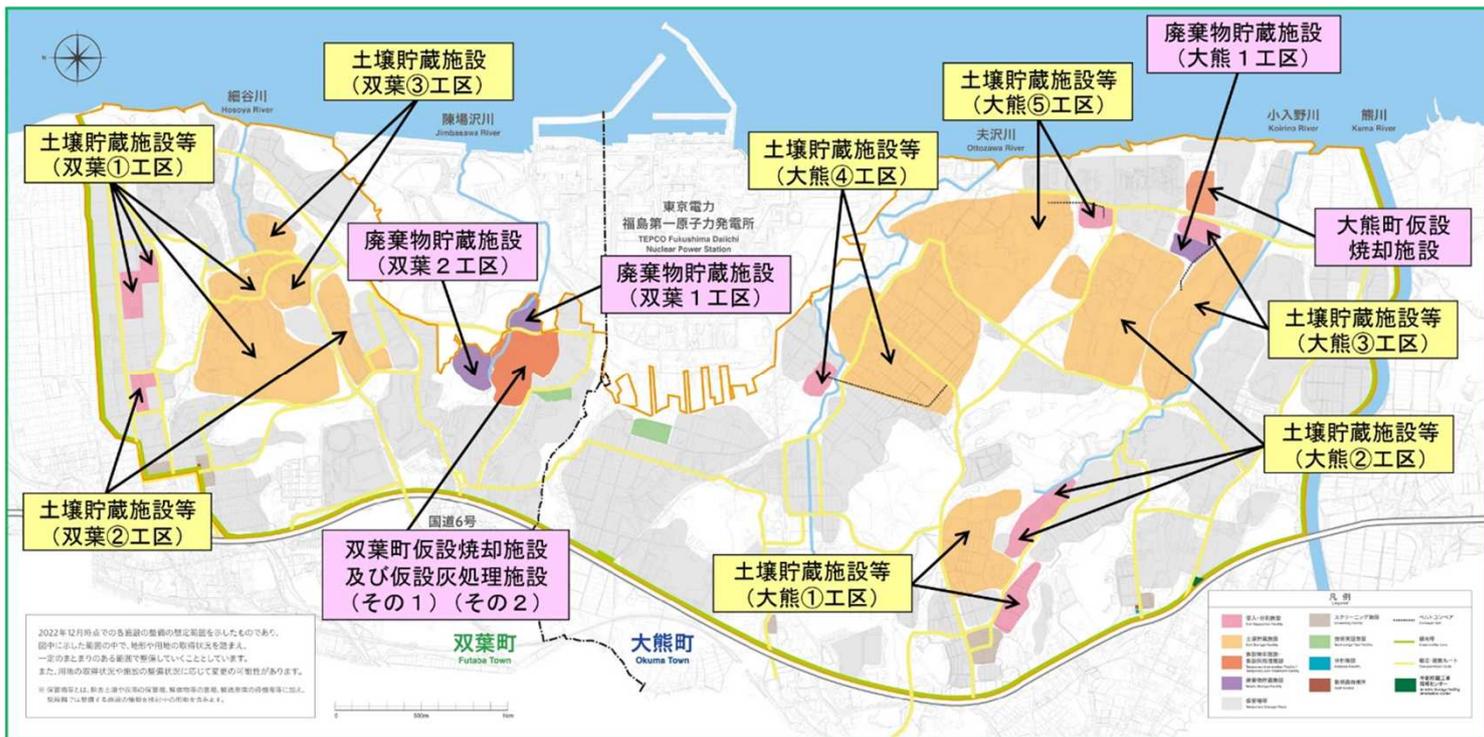


福島再生。

中間貯蔵施設の整備の現状

概要

- 放射性物質汚染対処特措法等に基づき、福島県内の除染に伴い発生した放射性物質を含む土壌・廃棄物及び福島県内に保管されている10万ベクレル/kgを超える焼却灰等を最終処分するまでの間、安全に集中的に管理・保管する施設として中間貯蔵施設を整備しています。
- 2016年11月に、大熊町・双葉町において、受入・分別施設、土壌貯蔵施設の整備に着手しました。
- 2017年6月に除去土壌等の分別処理を開始し、分別した土壌について、大熊町では2017年10月、双葉町では2017年12月から土壌貯蔵施設への貯蔵を開始しました。
- 2020年3月に、中間貯蔵施設における除去土壌と廃棄物の処理・貯蔵の全工程で運転を開始しました。



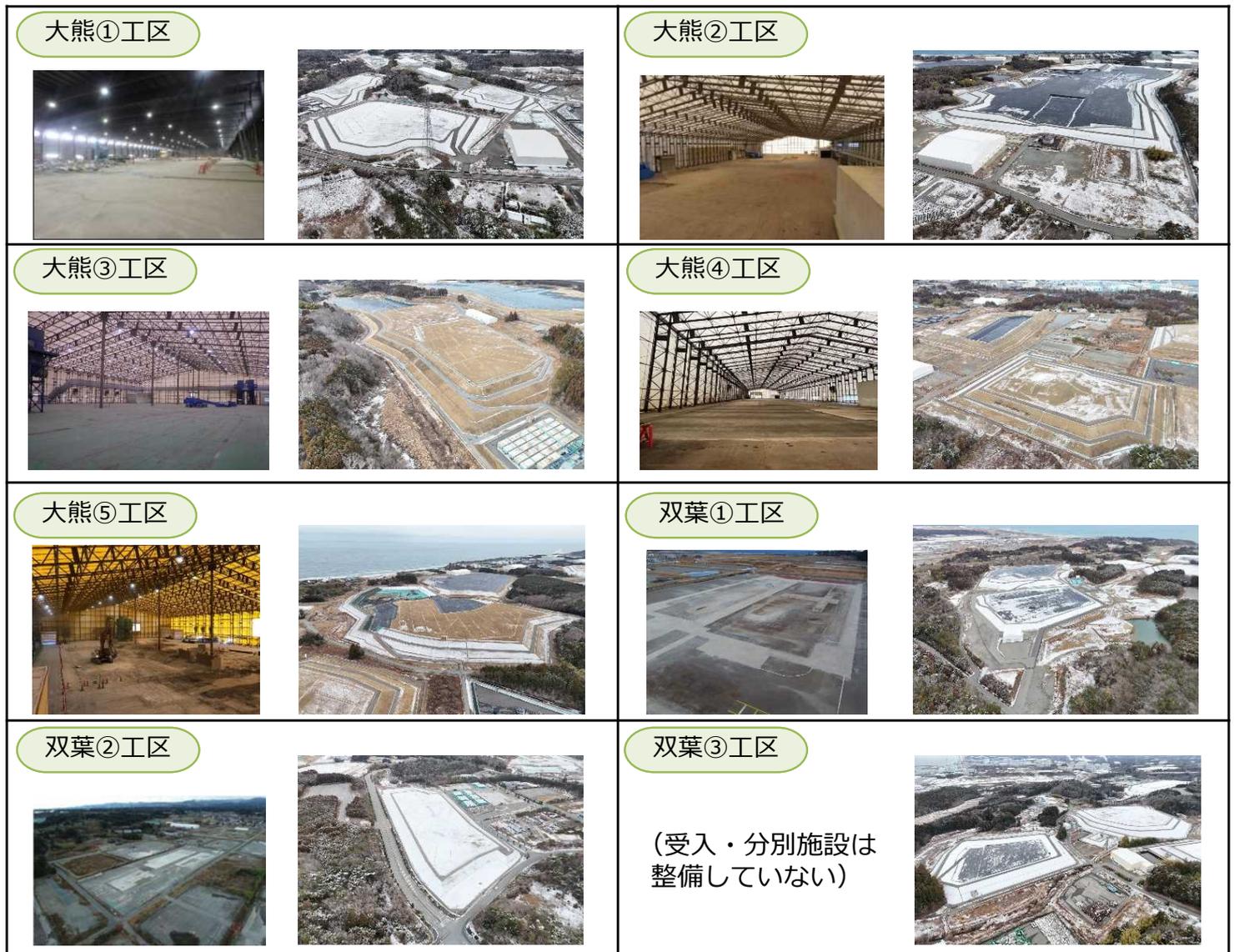
●除去土壌の分別処理を行い、3月末時点で、約1,201万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。

| 工区 | 大熊①工区 | 大熊②工区 | 大熊③工区 | 大熊④工区 | 大熊⑤工区 | 双葉①工区 | 双葉②工区 | 双葉③工区 |
|--------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 貯蔵容量 ^{※1} | 約103万 m^3 | 約297万 m^3 ^{※2} | 約167万 m^3 ^{※2} | 約180万 m^3 | 約269万 m^3 ^{※2} | 約105万 m^3 ^{※2} | 約85万 m^3 | 約77万 m^3 ^{※2} |
| 貯蔵量 ^{※1} | 約103万 m^3 | 約289万 m^3 | 約167万 m^3 | 約171万 m^3 | 約221万 m^3 | 約102万 m^3 | 約85万 m^3 | 約63万 m^3 |
| 土壌貯蔵施設スケジュール | 2018年7月貯蔵開始 2023年1月貯蔵完了 | 2017年10月貯蔵開始 | 2018年10月貯蔵開始 | 2020年3月貯蔵開始 | 2019年4月貯蔵開始 | 2017年12月貯蔵開始 | 2019年5月貯蔵開始 2022年9月貯蔵完了 | 2019年12月貯蔵開始 |

※これまで、貯蔵容量（体積）は着工時点の設計における容量を掲載し、貯蔵量（体積）は貯蔵した除去土壌の重量を体積に換算したものを掲載していた。この度、令和5年度で工事が竣工したことから、貯蔵容量は竣工時点の設計値、貯蔵量は竣工時の測量に基づく値へ見直した。

※1 貯蔵容量及び貯蔵量は、仮置場等からの輸送量ベース（1袋 = 1 m^3 で換算）であり締め固め前。

※2 必要に応じ堰堤を造成し、容量を増やす予定。



左の写真が受入・分別施設、右の写真が土壌貯蔵施設

仮設焼却施設及び仮設灰処理施設の整備状況

2025年3月31日時点

● 仮設焼却施設及び仮設灰処理施設で処理を行っています。

| 施設 | 大熊町 | 双葉町（その1） | 双葉町（その2） |
|--------|---|--|---|
| 規模 | ・ 仮設焼却施設： 200 t / 日 × 1 炉 （ストーカ炉） | ・ 仮設焼却施設： 150 t / 日 × 1 炉 （シャフト炉） ・ 仮設灰処理施設： 75 t / 日 × 2 炉 （表面熔融炉） | ・ 仮設焼却施設： 200 t / 日 × 1 炉 （ストーカ炉） ・ 仮設灰処理施設： 75 t / 日 × 2 炉 （コークスベッド式灰熔融炉） |
| 業務用地面積 | 約5.0ha | 約5.7ha | 約6.8ha |
| 処理開始 | 2018年2月 | 2020年3月 | 2020年3月 |
| 受注者 | 三菱・鹿島JV | 新日鉄・クボタ・大林・TPT JV | JFE・前田JV |
| 外観 |  |  |  |

廃棄物貯蔵施設の整備状況

2025年3月31日時点

● 3月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器30,657個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

| 工区 | 大熊1工区 | 双葉1工区 | 双葉2工区 |
|------------|---|--|---|
| 主な建築構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造（2棟） | 鉄骨鉄筋コンクリート造（1棟） | 鉄骨鉄筋コンクリート造（1棟） |
| 貯蔵容量※ | 29,280個 | 14,678個 | 30,028個 |
| 貯蔵量※ | 13,110個 | 14,678個 | 2,869個 |
| 敷地面積 | 約2.4ha | 約2.2ha | 約3.7ha |
| 着工 | 2018年7月 造成開始 2018年12月 建築開始 | 2018年6月 造成開始 2018年11月 建築開始 | 2019年12月 造成開始 2019年12月 建築開始 |
| 貯蔵スケジュール | 2020年4月貯蔵開始 | 2020年3月貯蔵開始 | 2023年12月貯蔵開始 |
| 施設整備受注者 | 鹿島建設 | 大林組 | 鹿島建設 |
| 定置・維持管理受注者 | 安藤ハザマ・不動テトラ・浅沼JV | | |
| 外観 |  |  |  |

※ 貯蔵容量及び貯蔵量は、鋼製角形容器（内寸 約1.3m(幅)×約1.3m(奥行)×約1.1m(高さ)）の個数。